

Ⅲ 自閉症スペクトラム

(自閉症、高機能自閉症、アスペルガー症候群)

1. 社会関係の困難さ

- ①目や表情、身振りなど人との関係で言葉によらない理解が困難…
状況把握できず、相手の感情や立場がわからず立ち止まってしまう
- ②同年齢の仲間を作るのが困難…
一人遊びはできるが、集団に入れない
過敏性がある(大きな声、色彩文字刺激、触れること、味覚)
- ③楽しい気持ちや他人との交流が困難…
仲間との協力や配慮に欠ける
- ④感情の交流ができないので安心と理解がすまない

2. コミュニケーションの困難さ

- ①話し言葉の遅れを身振りで補えない…
含みが分からず言葉どおりに受け取る、表情や手の動きが理解できない
- ②会話の開始と継続に困難性がある…
形式的で抑揚なく間合いが取れない(状況に関係ない発言、会話が発展しない)
- ③常同的、反復的な言葉の使用、独特な言語
- ④変化に富んだ自発的なごっこ遊びや社会性ある物まね遊びができない

3. 限定された興味だけに熱中(強い拘り)… 自分だけの知識世界を持つ

- ①特定の習慣や手順に拘る…
極端に苦手なものがある、変更や変化を嫌がる
(パニックを起こす、ルールが理解が困難)
- ②反復的変わった行動の繰り返し…
簡単な日常の活動が無理、動作やジェスチャーがごちない
- ③物の一部に持続的に集中

発達障害の子どもたちの育ちには理解と環境整備、そして支援手立て大人のネットワークが必要です。強制や叱責は二次障害につながります。

発達障害の支援の基本

- ①時間をかけ可能なところから一歩ずつ
- ②理解しやすい言い方で説明、段階的な手立ての用意
- ③補助的支援の必要性和工夫
(構造化されたプリント、補聴器、拡大文字)
- ④叱責や強制を避ける…穏やかで静かな声で対応する
- ⑤強い励ましを避ける…自信を持って取り組める課題を用意する
- ⑥うけ入れほめる…成功と安心で自信をつけていきましょう
- ⑦二次障害のケア…叱り規制するより、理解し伴走することを

支援のポイント

1 得意なことを活かしましょう

- ①努力していること、よくなっていることをほめる
- ②できていることを認め、長所を伸ばす
- ③穏やかで静かな声で語りかける

2 こんな工夫をしましょう

- ①予定・手順・授業の流れを提示(予告で見通し・視覚で伝える)
- ②説明・指示は明瞭で短い言葉
- ③身の回りの整理・整頓(色分け・シール・ファイルの活用)
- ④補助的道具・教材の活用(絵・写真・補聴器・拡大文字)

発達障害児のサポーターとして

発達障害児の自立に必要なことは、理解と支援です。自閉症・注意欠陥多動性障害・学習障害などの発達障害を持つ子どもたちを支えるためには、偏見や誤解のない正しい理解を欠かすことはできません。発達障害を持つ子どもたちが、より良いサポートを受けながら地域の中でそのらしさを発揮して暮らしていけるように応援していきたいと思っております。家庭・教育・医療・地域社会のネットワークがさらに厚みを増し、支援への取り組みがさらに活性化していくことを願っています。



汐入メンタルクリニック こども発達外来医師
阿瀬川 聡美

【相談機関】

〈学習支援・通室〉

- ・NPO 法人アンガージュマン・よこすか(連絡先は下記)

〈医院〉

- ・汐入メンタルクリニック(こども発達外来)
横須賀市汐入町2-7-1 山下ビル2・3階 046-823-3001

〈相談〉

- ・はぐくみかん 横須賀市小川町16
 - 横須賀市療育相談センター(1・2・4階) 046-822-6741
 - こども青少年支援課(5階) 046-822-8937
- ・教育委員会
 - 学校教育課 支援教育(市役所1号館6階) 046-822-8480

監 修

阿瀬川聡美ドクター(三精会汐入メンタルクリニック)

編集責任

NPO 法人アンガージュマン・よこすか
(学習支援ネクスト発達障害支援研究委員会・運営協議会)

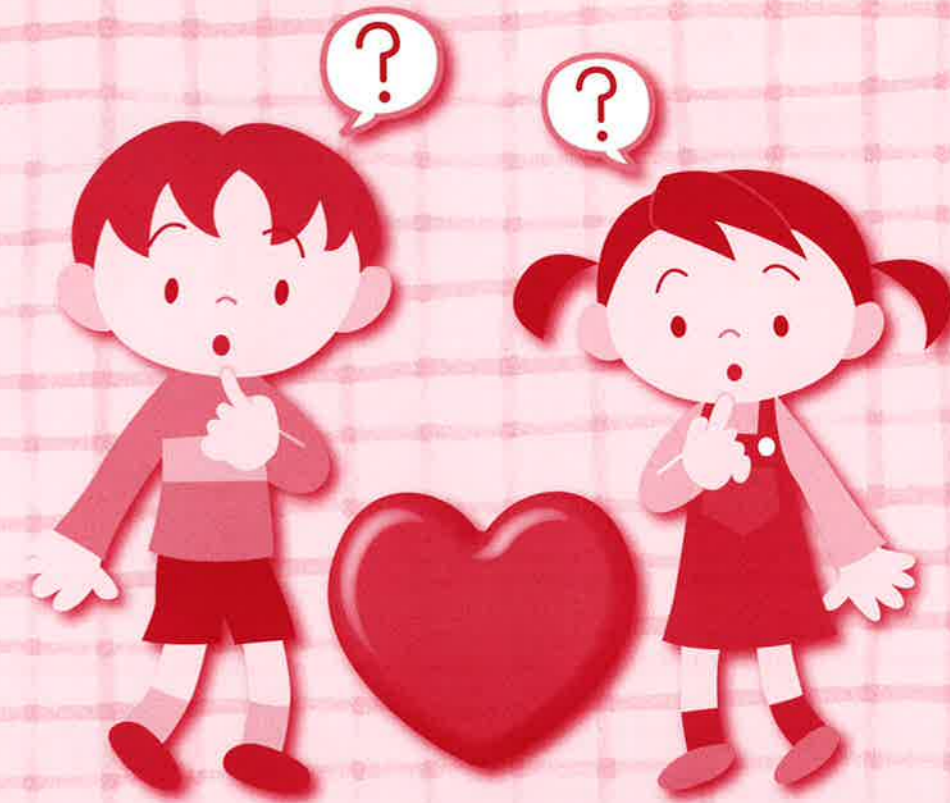
発 行

NPO 法人アンガージュマン・よこすか
横須賀市上町2-4 TEL/FAX 046-801-7881



発達障害の理解のために

困っているのは…誰でしょうか？



子どもの姿が変だ… 変わった子ども？
ワガママな子ども？ どうして！ なんで!!

大人は戸惑いを抱いてしまいます……。

私たち特定非営利活動法人(以下NPOと略します)で出会った子どもたちの中には学校へ行っていない“不登校”の子どもや、働いたり学ぶことを止め人と関わらない“ひきこもり”の若者たちがいます。

一人ひとりをよく見るとどこか特徴があります。

一つはコミュニケーションが困難であること。また、行動の取り方が独特であること。そして感じ方や考え方に拘りや偏りがあること。

NPO 法人
アンガージュマン・よこすか

〔文部科学省・実践研究事業〕

座ってられない、
動き回り足はブラブラ、
手は何かをいじっていないと
気がすまない、
すぐに休みたくなり
椅子から落ちる、
床に寝る…私どうしよう。

周りの人たちに気がつかず、
自分勝手にしゃべってしまうの。
人を押しつけても自分のことを優先しちゃって、
空気が読めないってみんなに言われる。

片付けられない、
注意しても注意しても…分からない、
叱っても逆に慌てて外へ飛び出したり
恐ろしい剣幕で文句を言い始めるって、
お母さんが言う。でも…

押し黙ったまま答えないので、
何を考えているのか
わからないって嫌われる。
話は聞いているけど答えや
自分の意見が言えないんだよ。

教科書やノート・筆箱の配置や
使い方の細かなことに拘っちゃう。
それが済まないと次へ進まないんだ。
きっと自分の中に進める順番が
あると思う…。

注意や人の一言一言が気にさわる。
読み間違いや言い違いもあるよ。
だから問い返しや言いなおしをしちゃう。
時には怒ることもあるよ。

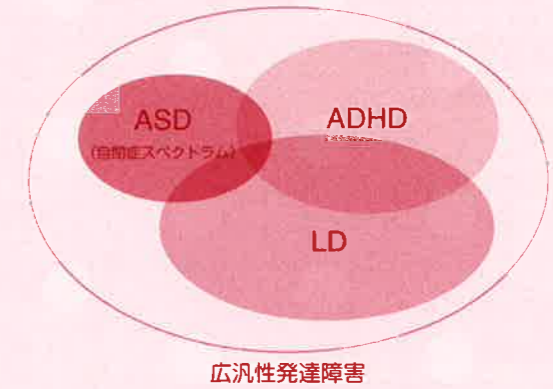


親の育て方の問題ではありません 困っているのは子ども 理解と支援ネットワークが必要です

私たちは「おとなしい」「まじめな」「言うことを聞く」「優しい」子どもや若者像を求め描いています。よく見ると目の前の子どもたちは、一人ひとり違っています。「みんな違って、みんないい」と言われるように、微妙にそして大きく一人ひとり違ってます。この違いを尊重し理解することが、一人ひとりの個性を育てていくのではないのでしょうか？

原因は親の育て方ではありません。ここに、発達障害、見えない障害の課題の存在があるのです。子どもや若者のありのままの姿を理解し尊重し、学校や社会の中での困難なところを支援する必要があります。そして親と学校、医療とNPO等がネットワークを作ることです。

広汎性発達障害の全体像



I 学習障害 (LD)

- 特定の基礎的学力の習得に著しい困難がある
 - 個別では理解できても集団場面では聞きとれない
 - 指示の聞き漏らしがおおい
 - 語彙がすくない
 - 人にわかるように伝えることができない
- ①聞くことの困難…指示の不理解、聞きもらし、個別対話
- ②話すことの困難…道筋なく話す、話す速さ、伝え方がへた
- ③読むことの困難…音読が苦手、読み間違い、抜かし繰り返し、要点の不理解
- ④書くことの困難…書くこと・作文が苦手、漢字や句読点がわからない
- ⑤計算することの困難…計算(暗算)に時間がかかる、文章題が苦手
- ⑥推論することの困難…量や図形が苦手、因果関係がわからず修正できない早合点と飛躍がある

II 注意欠陥 / 多動性障害 (AD/HD)

1. 不注意

- ①細かい注意がはらえない、ミスを連発する
- ②遊びや課題に集中し続けられない
- ③聞いていないように見える
- ④最後までやりとげられない
- ⑤順序だてて行動できない
- ⑥努力しつづける課題をさける
- ⑦必要なものをなくす
- ⑧気がちりやすい
- ⑨日々の活動で忘れっぽい

2. 多動性

- ①手足をソワソワ動かし、席に座ってもモジモジする
- ②過度に走り回ったり、よじ登ったりする
- ③席を離れじゃましてしまう
- ④過度にしゃべり、ぶつぶつぶやく
- ⑤駆り立てられるように活動し、順番がまてない
- ⑥遊びや余暇活動に参加できない

3. 衝動性

- ①思いついたことを話し、出し抜けに答えてしまう
- ②周囲が見えずに、順番を無視してしまう
- ③人の話をさえぎったり、じゃましてりする
- ④自分のことで夢中となり、周囲が見えない
- ⑤言動が乱暴となり、トラブルメーカーとなる
- ⑥かんしゃくを起こし、孤立する